

溶剤系 1 液湿気硬化型ポリウレタン樹脂シーラー

ボウジンテックス

アスファルトシーラー

BOUJINTEX ASPHALT SEALER

アスファルト面のブリード止めを目的として開発された下塗り材です。

用途

1. ボウジンテックス #5400、#5500Nの下塗り材
2. アスファルト面の密着性向上、吸い込み止め、ブリード止め

特長

優れた作業性

1 液型で塗装作業性に優れる

優れた密着性

上塗りは、水系・溶剤系問わず塗装が可能 (標準アスファルトの場合は、ボウジンテックス #2000が塗装可能)

塗装仕様

上塗りがボウジンテックス #5400の場合

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /セット)	塗装間隔 (23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	新設の場合は、2週間以上期間をとり、表面の油分をなくす。転圧が充分に行われていることを確認する。(簡易アスファルトの場合は、塗装後アスファルトが持ち上がるので塗装を避ける)アスファルトのくぼみに溜まった土砂を取り除くため、デッキブラシを併用して水洗する。(油分がある場合は洗剤を使用する)水洗後、自然乾燥する。								
下塗り	ボウジンテックスアスファルトシーラー 16kg	既調合 (無希釈)	ハケ・ローラー	1	0.20～0.30	53～80	-	4h以上 24h以内	-
上塗り	ボウジンテックス #5400 16kg	15～20% (#5400RMシンナー)	ハケ・ローラー	2	0.16～0.20	40～50	2h以上 8h以内	-	8h以上
上塗り	ボウジンテックス #5500N 16kg	0～10% (#5500Nシンナー)	ハケ・ローラー	2	0.50～0.80	10～16	2h以上	-	5h以上

※塗付量にシンナーは含まれていません。塗付量はアスファルトの状態により増減します。
※アスファルトシーラー16kgに対して、ボウジンテックス フィラー1～2kgを混合して塗装すると、より効果的です。

※塗付量にシンナーは含まれていません。塗付量はアスファルトの状態により増減します。

荷姿

ボウジンテックス アスファルトシーラー . . . 16kg・4kg
ボウジンテックス フィラー . . . 5kg

注意事項

【仕様全般】

1. 気温5℃以下、相対湿度80%以上、降雨、降雪、結露が予想されるときは、硬化不良等をおこすことがありますので施工を避けてください。
2. 多量の水がこぼれた箇所は1週間程充分に乾燥させてください。
3. 塗装や塗料取り扱い時には、換気に気を付け火気厳禁としてください。また、溶剤中毒には充分ご注意ください。
4. 換気が不十分である場合、乾燥が遅れるおそれがあります。
5. 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質 (VOC等) に過敏に反応される可能性がありますので、充分ご注意ください。
6. 塗装による臭気で、近隣に迷惑を掛けることがありますので、充分に配慮をお願いします。
7. 施工時および施工終了後において、充分な換気を行ってください。
8. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

【塗料に関する注意】

1. 塗面積・塗付量はアスファルト細面を基準としています。(粗面の場合は約2倍の塗付量が必要です。)
2. 上塗りにボウジンテックス #2000を塗装する際、淡彩色ではブリードすることがあります。
3. ボウジンテックス フィラー混合時は充分攪拌してください。
4. 使用前には充分攪拌してください。
5. 溶剤系塗料は、溶剤の影響により内圧が上がっている可能性がありますので、開栓時は充分ご注意ください。
6. 小分けする場合は、充分攪拌して均一の状態にしてから行ってください。色浮き・色違いの原因となります。
7. 市販の希釈用塗料シンナーには多種のシンナーがあり、適合しないものもありますので、必ず専用シンナーをご使用ください。
8. 材料の保管・取り扱いは消防法・労働安全衛生法に基づき充分な管理をお願いします。



水谷ベイント株式会社

大阪市淀川区西三国4丁目3-90 TEL 06-6391-3151

東京・北関東・中部・大阪・広島・福岡・仙台・札幌

カタログ掲載の内容は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

OND2306